

周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第7回 セミナー

今回のセミナーでは、本事業の海外連携研究者である張智慧氏(上海大学)に、報告をしていただきます。張氏はこれまで、1920年代末～1930年初頭の上海における日本人居留民に対する救済問題について検討してきました。今回は、さらに時期を進めて1932年上海事変後における日本人居留民の医療救済問題について都市社会史研究の視点から論じていただきます。

中国近代史や近代都市社会史、地域社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



地図：「最新大上海地図」（縮尺 1/24,000、1940年、森製図社、日文研 HP より） / 左上写真：『上海・北四川路』「皇威輝く中支之展望 上海・南京・蕪湖・蘇州・杭州」（1938年、三益社、HP「植鉄の旅」より） / 右下写真：外灘建築鳥瞰図 1930年（ウィキメディアより）

日時 2018年7月12日(木) 16:30～18:30ごろ

会場 大阪市立大学 文学部会議室(文学部棟 1F L122)

内容 張智慧氏(上海大学・文学院歴史学部・副教授 / 海外連携研究者)

「上海事変後における日本人居留民の医療救済問題」

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp